

産地生産基盤パワーアップ事業
都道府県事業計画書（収益性向上対策）
（都道府県事業実施状況報告書兼評価報告書）

都道府県名 福岡県

変更：令和6年8月30日

I 産地パワーアップ計画（収益性向上タイプ）

1 成果目標

(1) 生産コスト又は集出荷・加工コストの10%以上の削減

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標			スマート農業推進種	事後評価の検証方法 （※定量的な検証ができること。）	達成率（%）	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考	目標の実現可能性		
					現状	目標									実績	
					年度	面積	生産量又は出荷量	年度	面積	生産量又は出荷量	年度	面積	生産量又は出荷量	年度	面積	生産量又は出荷量

(2) 販売額又は所得額の10%以上の増加

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標			スマート農業推進種	事後評価の検証方法 （※定量的な検証ができること。）	達成率（%）	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考	目標の実現可能性																
					現状	目標									実績															
					年度	面積	生産量又は出荷量	年度	面積	生産量又は出荷量	年度	面積	生産量又は出荷量	年度	面積	生産量又は出荷量														
福岡県農業再生協議会	2	柳川市	ナス、アスパラガス、トマト	低コスト耐性ハウスの整備、集出荷施設を整備し、作付面積の拡大、収量向上により産地の拡大を図る。	販売額の10%以上の増加	H30	1,601,822千円	33.39 ha	4,478 t	334 ナス アスパラ 1,096 トマト 256	円/kg	R5	1,912,589千円	35.5 ha	5,028 t	351 ナス アスパラ 962 トマト 250	円/kg	R5	1,898,898千円	34 ha	4,369 t	406 ナス アスパラ 1,017 トマト 301	円/kg	R5	1,870,783千円	86.5%	販売額は上昇したが、ナスの作付面積が減少したことや、気候的な要因による減収により、86.5%の達成率となった。	作付面積の減少や収量減により目標未達であった。目標達成に向け、関係機関と連携し、生産技術指導等、引き続き支援を行う。	86.5%	
南筑後地域農業再生協議会	4	みやま市・大牟田市	柑橘	集出荷施設を整備し、収益力を向上できる産地の形成を推進	単位面積当たり販売額の31%以上の増加	R2	465千円/10a	297 ha	6,534 t	211	円/kg	—	R5	611千円/10a	270 ha	7,600 t	217	円/kg	R5	633千円/10a	270 ha	5,338 t	320	円/kg	0.802	508千円/10a	29.4%	天候の影響により生産量は減少したが、販売単価が上昇したことにより、実績額としては目標を達成した。しかしながら、価格補正後の実績額としては目標を達成できなかったため、産地への転換や更なる品質向上を図ること、目標達成を目指す。	販売単価が上昇したものの、価格補正の結果、目標達成には至らなかった。目標達成に向け、収量増及び品質向上が課題である。関係機関と連携し、生産技術指導等、引き続き支援を行う。	29.4%
八女地域水田農業推進協議会	6	八女	菊	低コスト耐性ハウスの整備により気象災害に強い産地形成を推進	販売額の10%以上の増加	R2	127,407千円	2.18 ha	2,075,778 本	61.4	円	R5	184,461千円	2.86 ha	2,904,902 本	63.5	円	R5	156,236千円	2.86 ha	2,008,100 本	77.8	円	0.823	128,577千円	2.0%	本事業で整備した低コスト耐性ハウスの工事完了が遅れたことにより、計画より遅れた。年度内に予定していた栽培の回転数が確保できず生産が減少したため、目標を達成できなかった。価格補正後の実績額により目標達成を目指し、生産量の増加に取組み、目標達成を目指す。	JAの生産、販売実績より検証【価格補正後実績】福岡市中央卸売市場 かんきつ取引価格実績	2.0%	
久留米市水田農業推進協議会	3	久留米市北野地区	施設野菜 （水菜、小松菜、ホウレンソウ等）	施設野菜産地の形成の推進 ①施設野菜の経営拡大の取組 ②産光ネットの導入による周年・計画生産の取組を推進することにより、販売額10%以上の増加を実現する。	販売額の10%以上の増加	H30	3,289,426千円	107.8 ha	10,769 t	305	円/kg	R5	3,662,654千円	113.9 ha	12,019 t	306	円/kg	R5	3,624,472千円	113.9 ha	12,017.8 t	302	円/kg	0.823	3,900,470千円	163.7%	新型コロナウイルス感染症の影響があったが、低コスト耐性ハウスの導入による周年・計画生産の取組により、目標を達成した。今後も更なる技術向上等を行い、販売額増に努める。	JAの生産、販売実績より検証【価格補正後実績】福岡市中央卸売市場 施設野菜取引価格実績	163.7%	
小郡市水田農業推進協議会	2	小郡市南部	施設野菜 （水菜、小松菜、ホウレンソウ等）	施設野菜産地の形成の推進 ①低コスト耐性ハウスの導入による土地利用作物への作付転換の取組 ②産光ネットの導入による周年・計画生産の取組	販売額の10%以上の増加	H30	761,464千円	19.5 ha	1,988,115 kg	383	円/kg	R5	839,134千円	26.6 ha	2,190,903 kg	383	円/kg	R5	885,913千円	25.3 ha	2,703 t	328	円/kg	0.823	964,259千円	261.0%	施設及び単価は目標額を超過したが、出荷量及び販売額は増加目標を達成できなかった。関係機関と連携し、規模拡大や新規販路確保に向けて引き続き支援を行う。	JAの生産、販売実績より検証【価格補正後実績】福岡市中央卸売市場 施設野菜取引価格実績	261.0%	
大刀洗町水田農業推進協議会	2	大刀洗町	施設野菜 （水菜、小松菜、ホウレンソウ、ねぎ、サラダ菜）	施設野菜産地の形成の推進 ①施設野菜の経営拡大の取組 ②産光ネットの導入による周年・計画生産の取組を推進することにより、販売額10%以上の増加を実現する。	販売額の10%以上の増加	H30	796,943千円	41.2 ha	2,831 t	282	円/kg	R5	885,988千円	41.5 ha	2,954 t	300	円/kg	R5	620,286千円	39.8 ha	2,079 t	298	円/kg	0.823	652,158千円	-162.6%	肥料高騰や大雨による影響により出荷量が減少したため、販売額が伸びず目標を達成できなかった。関係機関と連携し、規模拡大や新規販路確保に向けて引き続き支援を行う。	JAの生産、販売実績より検証【価格補正後実績】福岡市中央卸売市場 施設野菜取引価格実績	-162.6%	

(3) 契約栽培の割合の10%以上の増加かつ50%以上とすること

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標			事後評価の検証方法 （※定量的な検証ができること。）	達成率（%）	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考	目標の実現可能性												
					現状	目標								実績											
					年度	面積	総生産量又は総出荷量	契約取引量	年度	面積	総生産量又は総出荷量	契約取引量	年度	面積	総生産量又は総出荷量	契約取引量									
うきは市水田農業推進協議会	3	うきは市・久留米市田主丸町地区	大玉トマト	施設野菜産地の形成の推進	契約栽培の割合の10%以上の増加	H30	53.8%	16.7 ha	2,992 t	1,610 t	R5	63.9%	17.25 ha	3,265 t	2,086 t	R5	63.8%	14.1 ha	2,450 t	1,564 t	99.0%	JAの部会へ入会している者については、JAの契約販売の割合を参照する。産地については、契約書等による契約取引数量と全出荷量の割合より契約割合を算出する。産地の契約割合については、上記割合を平均し算出する。	高齢化に伴う離農により、面積が大規模に減少し、総生産量、契約取引量ともに目標を下回り、契約栽培の割合もわずかに目標に届かなかった。今後も関係機関との連携により単収の向上を図り、面積減による総生産量の落ち込みを軽減しつつ、契約取引量を確保できるような指導を行う。	目標はわずかに未達成であった。目標達成に向け、生産技術指導による収量増、新規就農者の確保など、関係機関と連携し、引き続き支援を行う。	99.0%